

園聖句 私はまことのぶどうの木、あなたがたはその枝である。(ヨハネによる福音書15章5節)

今月の聖句

「探しなさい。そうすれば、見つかる。」(マタイによる福音書7章7節)

熊本地震の献金の取り組みにご理解、ご協力ありがとうございました。幼児さんの子ども達は『地震のためのお手伝い』を意識してお家で取り組んでくれていた様子が「熊本ノ人ニオヤツアゲタイナ」「お手伝イシテ、18枚献金ノ、才金タマッタヨ」などと話してくれる姿から感じる事が出来ました。6月22日現在6,9110円の献金が寄せられています。熊本の地震の話をごくからも子ども達に伝えていながら、子ども達と出来る支援をごくからも考えて取り組んでいきたいと考えています。

7月の行事予定

4日(月)	プール遊び始まり	23日(土)	保護者会夕涼み会
6日(水)	おべんとうの日 ゆり組園外保育(水遊び:宝ヶ池公園)		高校生保育職業体験受入れ 夏休み保育ボランティア
7日(木)	七夕礼拝		◇園庭開放 7/7 (七夕会)
13日(水)	お誕生会		◇あそぼう会 7/13 20
14日(木)	ゆり園外保育見学会		◇おいでよ赤ちゃん 7/5
23日(土)	※あそびにおいでよ(小学1~2年)		(◇印は地域開放としての取り組みです)

<水あそび、シャワー・プール>

いよいよ子どもたちの大好きな水の季節です。

園では6月20日からシャワーをはじめる予定でしたが、初日は天候が悪く、気温も上がらず残念ながら出来ませんでした。その後はシャワーをしてもらい気持ち良さを感じる子ども達の姿が見られる毎日です。お家の方にシャワー、プールの準備物についてお願いをさせていただきました。ご協力どうぞよろしくお願い致します。でも、楽しい水あそびのためにはまず健康、そして清潔安全への配慮が大切です。

- 1 もし伝染性の疾患(とびひ、結膜炎等)があれば早めの治療を
- 2 頭の点検も。できれば髪は短めに。
- 3 手足の爪は短く、耳垢はとっておきましょう。
- 4 水着、水あび用パンツは毎日洗濯したものを。

色々な夏のあそびを通して水の気持ち良さを全身で感じてあそぶ経験を楽しめるよう計画しています。

<夏期の予定表記入についてのご協力お願い>

夏の特に学校が夏休みになる7月下旬から8月の期間についてサマータイムとしてご家庭で過ごせる時はそうしていただくことができればご協力をお願いし、職員に夏期の研修会への参加などを促進することへの協力をお願いしてきました。この時期の出欠を予め掌握させていただき、保育体制を効率的且つ支障の無いものと思っております。夏期の予定表の記入の方よろしく申し上げます。この間は学生アルバイト等が保育の助手として加わります。日常の保育には支障の無いように十分配慮してまいります。各御家庭の御理解御協力の程お願いいたします。

夏休みの予定をどのように計画されていますか？夏休みに合わせてテーマパークでも色々なイベントが計画されていて「子どもを連れて行ったら楽しいだろう」と思ってしまいますね。実は子どもにとってお家で過ごすお休みが一番うれしいお休みです。いつもは忙しいそうにしているお父さん、お母さんもちよっぴりのんびりして、ゆったりとした気持ちで子どものペースで過ごせる事でしょう。

「子どもがお昼寝している間に家事をするつもりが一緒に寝てしまった」なんて事があってもいいのではないのでしょうか。そんなゆとりがある時間の中で子どもと過ごす子どもの喜びや、成長を発見できる事でしょう！

<展示食> 展示食について、7,8,9月の夏場の暑い季節は腐敗しやすいので状況によっては展示できない場合もあります。どうぞご了承ください。

<クールキッズステーション>

園が地域の社会資源として、京都市のクールキッズステーション事業に協力し、ご近所の方に暑い昼間園の一室で涼しく過ごして頂けるように計画しています。

毎年ご近所の親子が参加して下さり、氷あそびや、寒天あそび、クッキーづくりを楽しみながら、子育ての交流を深める場になっています。今年は8/1～5の期間 1時30分から3時30分の時間に行います。

<夏休み保育ボランティア>

学校のお休みに合わせて卒園した小学校4年生から6年生、中学生がクラブ活動のない日などに園のお手伝いに来てくれます。楽しみにしている卒園児さんもいて、学校の帰り道で出会うと「夏休み手伝いにくし」と声を掛けてくれます。懐かしさを感じながら、小さいお友達をお世話する経験を通して、自分達も大事に育てられてきた事を感じ、そして必要とされている大事な存在であることを感じてくれると信じ、この取り組みをしています。この保育ボランティアの経験から『将来は保育士になる』と決めた卒園児が保育の現場で頑張っている事にも喜びを感じています。幼児さんは去年にお手伝いに来てくれていたお兄ちゃん、お姉ちゃんの顔を覚えていて会えると嬉しそうにそばによっていく姿があります。覚えてくれていた事がお兄ちゃん、お姉ちゃんも嬉しい様子です。夏休みお兄ちゃん、お姉ちゃんとの出会いが子ども達にも喜びを感じる出会いになることでしょう。

シオンの里のおじいちゃん、おばあちゃんとの交流

花の日礼拝の次の日、皆が持ってきてくれたお花を集めて花束にし、シオンの里にゆりさんが届けてくれました。シオンの里は同じ京都基督教福祉会の介護老人福祉施設です。ゆりさんはデイセンターに通われている方々と交流をしました。ゆりさんがお部屋に入ると自然に拍手がはじまり「こんにちは」など声を掛け暖かく出迎えて下さいました。日頃歌っている歌を聞いて頂き、ふれあいあそびを楽しんだ時の事です。車いすに座られ体を動かす事が難しいおじいちゃんがおられました。手を合わせたり、握ったりする事は難しく、前で立って誘ったゆりさんも戸惑っていました。そこで手を合わせたり、握ったりする所を、膝を触って触れあう事にしました。すると2回目の時に、おじいちゃんの表情が明るくなり、動かしにくい手を少し前に出して下さり、おじいちゃんのありったけの歓迎が伝わりました。『今日来てくれてありがとう』『出会えて嬉しい』というおじいちゃん、おばあちゃんの気持ちを感じ、ゆりさんが優しい笑顔でおじいちゃん、おばあちゃんと触れあっている姿に、『あなたが大事』を感じさせて頂いたと感じ、シオンの里との交流の機会を花の日礼拝をきっかけに頂けた事に感謝の一日でした。